

ゆきの灯り

第72号

令和5年1月発行
油木協働支援センター
TEL 82-0701
FAX 82-2228

生涯学習マスコット：マナビイ



初春月

迎春万歳



新年のご挨拶

油木協働支援センター長 今岡一憲

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は、油木協働支援センターの運営並びに行事等に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

本年につきましても、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしく申し上げます。
新型コロナウイルスの感染も衰えを見せず、まだまだ広がりを見せています。今年の内には、収束の方向へと進んでもらいたい気持ちでいっぱいです。

昨年は、コロナ禍の状況下で、各々の部会開催、旧百彩館周辺の賑わい創出(ゆき軽トラ掘り出し市)、ドローンを活用した防災研修の新しい取り組み(安田地区・城山地区)。また、油木地域の保・小・中・高・一般の書画等の作品を集めた文化作品展開催や、史跡・文化遺産等を紹介するための執筆活動。そして、子どもから大人までを対象とした各種教室の開催等、活動が制限される中、それぞれの事業を通じて学習活動・地域活動・世代間交流等、さまざまに取り組みを展開していただきました。

また、開館一周年を迎えた「にしかわ化石館」は、展示室の増築をさせていただき、展示物を拡充させるべく準備が続いています。さらに、神石高原町より「JIN(神)プレミアム」の認定を受ける等、生涯学習・社会教育の拠点として、活動の一層の充実と啓発を進めて参ります。

本年も、まだまだコロナ禍で活動の制限は続くと思いますが、各部会をはじめとして住民の皆様方と「横の連携」と「縦の連携」の充実を図りながら、協働支援センター本来の姿である「住民主導のまちづくり」に向けて取り組んでいきたいと考えております。

新型コロナウイルス感染への防止にご留意いただくとともに、感染防止対策を講じながら協働支援センターの事業の推進に取り組んで参ります。

改めて、令和5年も住民の皆様方からのご指導とともに、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしく申し上げます。



「お知らせ」
産前産後休暇中の福万彩名事務局長の代員として、坂口優美子事務局長が着任しました。主に庶務・経理を担当します。10月までの期間となりますが、よろしく申し上げます。

12月のゆきキッズ

12月の「ゆきキッズ」は3回開催され、子どもたちは寒さにも負けず元気に参加して活動しました。

□料理教室⑤

(12月3日)

大西智子先生の指導で、「クリスマスケーキ作り」に挑戦しました。楽しいクリスマスを思い浮かべながら、みんなで協力して作ることができました。

□蕎麦打ち教室

(12月10日)

藤井優晴先生と油木蕎麦打ち同好会の皆さんの指導で、「蕎麦打ち」に挑戦しました。丁寧な指導を受けながら作った「蕎麦」は、おいしくいただくことができました。

□お茶教室④

(12月17日)

小田緑先生と神石高原町女性会油木支部の皆さんの指導で、「クリスマス」をテーマに盆手前の作法を学びました。
お茶教室は開催時期に沿ったテーマで指導をしていただいています。



アートクラブ③

11月21日(月)、若林佐都子先生を講師に招き、「アートクラブ③」を開催しました。

今回のテーマは「消しゴムはんこ」で、令和5年の干支である「ウサギ」をデザインしました。

細かな部分の表現の仕方等、若林先生のアドバイスにより、オリジナルはんこが完成しました。



パン作り教室②③

11月8日(火) 12月6日(火)、平田サエ子先生を講師に招き、「パン作り教室②③」を開催しました。

「ウイーン風ブリオッシュ」「りんごパン」作り等を実習し、「パン作り」のコツを学びました。

今年も「教室」を通じて、レポートを増やすことができました。



蕎麦打ち体験教室

12月19日(月)、前原孝史先生を講師に招き、「蕎麦打ち体験教室」を開催しました。

今回の蕎麦打ちは、福島県から伝わった「小野」産の蕎麦粉を使用したもので、前原先生のアドバイスのもと、「天空の蕎麦」ができました。

試食の際には、「美味しい」という声が何度も聞かれました。





化石館

本物体験教室

油木小学校（12月7日（水））来見小学校（12月21日（水））の6年生が「にしかわ化石館」を訪れて、「大地のつくりと変化」という理科単元の「本物体験」を行いました。両日とも「化石魅力化プロジェクト」の中西正一リーダーの指導で、「にしかわ化石館」や「西川功氏の功績」等の学習と「化石クリーニング体験」のワークショップを行い、「本物」を通じて学校での学習を更に深めることができました。

「にしかわ化石館」は開館以来、町内の小学校から「本物体験」ができる学習の場として活用していただいています。今後も「学校教育と社会教育の連携・融合」のもと、子どもたちの学習の充実に協力できたいと思います。



来見小学校6年生



油木小学校6年生



「学校・家庭・地域」の連携は、子どもの「多様な価値観への理解と豊かな情緒の形成」「人間関係能力の向上」「学ぶ意欲の向上」等の、能力や意欲の向上に特に効果的であると言われています。また、地域全体で子どもの教育に関心が高まることは、地域全体の教育力を向上させていくことにつながります。地域全体で子どもたちの「学び」を支援しましょう。

地域ふれあい行事生徒感想

11月に実施した「神石高原中学校・地域ふれあい行事」へ参加した生徒の感想を掲載します。（抜粋）

○協力すること、地域の人とふれあうことの大切さを学びました。たくさん行事に参加して、積極的に取り組もうと思います。（1年）

○学年が違ってあまり話せなかった先輩と久しぶりに話せたし楽しかった。（2年）

○最初は難しいなと思ったけど、とても楽しくできました。また、地域のものや人と関わるよくなことをしたいなと思いました。（2年）

○地域の人とふれあい、自分の住んでいる所をよりわかったり、好きになれました。またやってほしいです。（3年）



○普段できない事が今日たくさんできたからよかった。来年もまたやりたいと思った。（2年）

○地域の人といろいろな体験をすることができてよかった。（2年）

○初めての体験をたくさん経験することができたので、来年も続けてやりたい。（1年）



トートバック制作体験



ドローン操縦体験

化石館魅力化プロジェクト

今年度増築した「にしかわ化石館」の新しい展示スペースに展示する、「化石・鉱物類」の整理が始まりました。

西川功氏の功績を、少しでも多く公開できたらと思います。



「インドネシアの化石とオパールの輝き」展 好評開催中

南の国の「秘宝」がちょっと気になります…

協力：藤井正徳氏（三和高室）



期間 令和4年12月12日（月）～令和5年2月3日（金）

場所 油木協働支援センター分室「にしかわ」

開館：月・水・金（11:00～19:00）

祝日・休日は閉館 入場無料

「油木のちょっといい話」

を募集しています。心温まる話題を教えてください。

お問合せ 油木協働支援センター

☎ 82-0701

☎ 82-2228



速報！

～詳細は後日発表～

Mebiusコンサート 決定！

期日 令和5年3月18日（土）

場所 油木協働支援センター2Fホール

主催：油木協働支援センター文化イベント部

yukishige chef のチョコレート・レッスン

日時：令和5年2月12日（日）13:30～15:30

講師：横山敬重先生 場所：油木協働支援センター分室「にしかわ」

定員：10名（対象は高校生以上） 参加費：1,000円

※詳細は油木協働支援センターHP・11chでご確認ください。

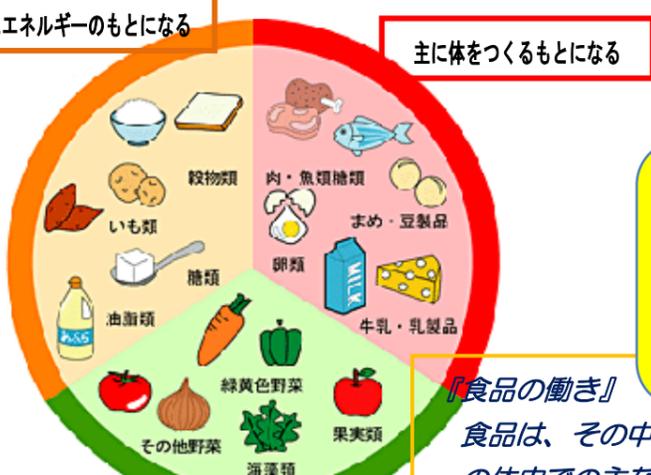
お問合せ・申し込み 油木協働支援センター ☎ 82-0701 ☎ 82-2228



健康と安全（栄養バランスのとれた食事）（参考：鹿児島県教育委員会社会教育課「かごしま家庭教育ナビ」）

主にエネルギーのもとになる

主に体をつくるもとになる



食べ物はいろいろな食品でできています。その食品には、体に必要な栄養素含まれていますが、1つの食品だけで必要な量をとることはできません。このため、いろいろな食品を組み合わせることで食生活が大切です。

『食品の働き』

食品は、その中に含まれる栄養素の体内での主な働きにより3つのグループに分けられます。

主に体の調子を整えるもとになる

『料理の組合せ』

学校給食の献立は、主食・主菜・副菜（汁物を含む）がそろっています。3つをそろえると栄養のバランスがよくなります。



☆地域で子どもを見守り育てましょう（油木協働支援センター）